

# 物理学系セミナーのお知らせ

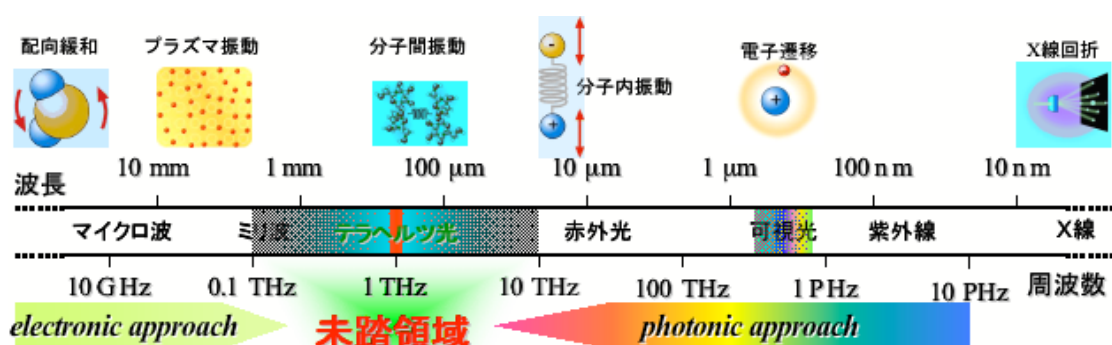
日時：2009年5月25日（月） 17:00～17:50

場所：A304教室

講演題目：「電波と光の間にある電磁波」

講演者： 林 伸一郎 氏（理化学研究所協力研究員）

電波と光の間にある電磁波，詳しく見ると，波長の短いミリ波（サブミリ波）と波長の長い赤外光（遠赤外光）のうち，波長  $300\ \mu\text{m}$ ，周波数に換算すると  $1\ \text{THz}$ （ $10$  の  $12$  乗 = T（テラ））の電磁波は近年，その周波数からテラヘルツ光と呼ばれている．この領域は従来，電磁波の未開拓領域として取り残されてきたが，近年，科学技術の進展に伴ってその発生・検出が容易になり，この周波数領域の電磁波特有の性質から，研究分野のみならず産業界からも注目を集めるようになってきている．このテラヘルツ帯は，電波のように多くの非金属材料を透過するだけでなく，光のように物質固有の吸収スペクトル持つなど，電波と光の両方の性質を併せ持っており，これらを利用した研究が，基礎科学はもとより，工業，農業，医療など各方面で盛んに行われている．当日は，テラヘルツ光とはどんな電磁波か？から，最近の基礎・応用研究，産業応用まで，テラヘルツ光の発生・検出・応用例を紹介する．



連絡先：菊地 淳（内線 7425）